

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 e-くらし 健康・快適住宅

グループの名称 ひろしま健康でe-くらし

直近採択グループ番号 06-0668-0630

(グループ代表者)

代表者名 堀田 俊司 代表者印
代表者所属先 株式会社SHL
代表者所在地 広島県呉市阿賀南7丁目10-14
代表者電話番号 0823-72-7476

(グループ事務局)

事務局事業者名 株式会社SHL
事務局担当者名 山下 和枝 印
事務局郵便番号 737-0004
事務局所在地 広島県呉市阿賀南7丁目10-14
事務局電話番号 0823-72-7476
事務局FAX 0823-72-7495
事務局担当者E-mail hiroshima_kenkoh_de_e@yahoo.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	e-くらし 健康・快適住宅
2. グループの名称(必須)	ひろしま健康でe-くらし
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0668-0630
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	広島県、山口県
5. 結成年(必須)	2015 年
6. グループ代表者名(必須)	堀田 俊司
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社SHL
8. グループ代表者所在地(必須)	広島県呉市阿賀南7丁目10-14
9. グループ代表者電話番号(必須)	0823-72-7476
10. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社SHL
11. グループ事務局担当者名(必須)	山下 和枝
12. グループ事務局郵便番号(必須)	737-0004
13. グループ事務局所在地(必須)	広島県呉市阿賀南7丁目10-14
14. グループ事務局電話番号(必須)	0823-72-7476
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0823-72-7495
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	hiroshima_kenkoh_de_e@yahoo.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	3	海外産の合法木材については原木供給者の特定が困難な為、供給ルートに構成員を含まない場合がある。
II. 製材・集成材製造・合板製造	3	海外にて製材された木材については事業者の特定が困難な為、供給ルートに構成員を含まない場合がある。
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	5	一部、流通を介さずに地域材の調達を行う場合がある。
IV. プレカット	1	一部の施工構成員においては、全て手刻みによる加工を行うため、プレカット会社を使用しない場合がある。
V. 設計	1	施工店が設計を兼ねている場合は、設計として登録していない場合がある。
VI. 施工	7	/
VII. 木材を扱わない流通	1	
VIII. I～VII以外の業種	4	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPPC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明 <input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明		国産材		3	国内
		外材		3	国外
		国産材		2	国内
		外材		2	国外
		国産材		2	国内
		国産材		2	国内
		外材		2	国外
		国産材		2	国内
		国産材		4	国内
		外材		4	国外
	広島県産材	広島県	広島県産材産地証明制度	1	国内
	山口県産材	山口県	優良県産木材認証制度	1	国内

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数 (必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		2	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		3	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	3	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型		性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	0	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	2	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積	0棟					
				0㎡					
			その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0棟					
				0㎡					
基本均等配分、未経験事業者に優先して配分。									
E. 平成29年度の執行状況 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	2	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	㎡	交付申請床面積	0	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	㎡	

<グループ構成員記入用リスト>VI. 施工-2 (長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

県 番号	構成員 番号	事業者 番号	事業者名	平成29年(1月~12月)の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計 数(H27~H29)			被災地 に該当	ZEHL ルダ ーに 該当	BELSI 務店 に 該当
				元請の 新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅 の実績		うち認定低炭素住宅・性能向 上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅 の実績		優良建築物の 着工床面積の実績		長期優 良住宅	高度省 エネ型 住宅	ゼロエ ネ住宅			
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
34	VI - 29	78837	高橋工務店株式会社	4 戸	4 戸	1 戸	2 戸	3 戸	2 戸	0 戸	2 戸	㎡	㎡	3以下	4以上	3以下			○
34	VI - 40	78813	株式会社豪建ホーム	2 戸	2 戸	1 戸	2 戸	2 戸	2 戸	2 戸	2 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			○
34	VI - 41	78801	株式会社マエダハウジング	7 戸	10 戸	1 戸	2 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			○
34	VI - 42	78904	有限会社西川工務店	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
34	VI - 43	78903	有限会社上垣工務店	0 戸	2 戸	0 戸	2 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			○
34	VI - 44		株式会社スカイハウス	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
34	VI - 45	78822	株式会社中国工業開発	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			○

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) e-くらし 健康・快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 広島県、山口県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) ひろしま健康でe-くらし	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0668-0630	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄	
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	<ul style="list-style-type: none"> 環境負荷低減の素材と工法を採用し、一次エネルギー消費量等級5を標準とする省エネルギー住宅とする。 広島県、山口県の地域的特性、気候の変化に適応した住宅とし、高い断熱性能と気密性能を持ち合わせる住宅とする。 巨大地震に備え、耐震対策等級2相当以上を目標とした地震に強い工法の耐震住宅とする。また、地盤の整備と保障に力を入れる。 	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	<ul style="list-style-type: none"> 長い日照時間のを活かし、太陽光発電設備を活用した住宅を推奨する。 瀬戸内の風や豊かな日差しなど自然エネルギーの恩恵を活かす大きな開口部を設けた住宅とする。 適切な防水処理・防湿処理を施した基礎とし、耐震性を兼ね備えたものとする。また、バリアフリーと快適な生活を鑑み基礎高を考慮するものとする。 	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	<ul style="list-style-type: none"> 日差しの強い時期の遮光や雨よけのための長い軒を設ける。 木のぬくもりを活かしたデザインを推奨する。 間口の広い開口部を取入れ、南側・西側に関しては年間を通して強い日照を考慮した窓の配置とする。 日射量対策として、遮熱と断熱の機能を発揮するLow-e複層ガラスを使用する。 	◎
④①～③の背景	<ul style="list-style-type: none"> グループテーマとして「e-くらし」を掲げており、「省エネルギーと快適を両立させた健康住宅」を提供する。 住宅供給対象地域の広島県、山口県は地域によって大きな違いがあるため、地域特性に即した住宅とする。 瀬戸内海側は冬でも温暖な気候であるが中国山地付近は冬になると非常に寒く豪雪地帯となる気候に対応する。 瀬戸内海沿岸は年間の日照時間が約2,000時間長いことや、強い日射が特徴であり、自然エネルギーを活用する。 真砂という特殊な土壌が分布し、土砂災害の起きやすい傾斜地が多いため、土壌地盤の特性に対応する。 	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	<ul style="list-style-type: none"> 広島県産材、広島県産材の木材を積極的に活用し、内装材、建具等を積極的に取り入れ、地元文化の継承と地域経済に貢献する。 新築時に植樹を行い、環境緑化と美観形成に貢献する。 お年寄りや様々な機能障害を抱える人々が安心して生活できるよう、快適な住宅づくりを心掛ける。 	◎

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄	
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・一部寸法の規格化を行っている。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・一部建材の統一を行っている。	◎
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・断熱材、サッシ、設備機器、において一部標準仕様の設定を行っている。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・一部調達の共同化している。	◎
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・事務局が流通業である点を活かし、調達の見込状況を把握し、合理化をしている。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: ・事務局に生産合理化の検討委員会を設置している。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・事務局は中心となって意見収集や各種情報周知に努めている。	◎
b		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・共通の施工基準を設け、信頼性向上に努めている。	◎
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・温熱、外皮、気密の検査を行い、『性能報告書』を取得している。(様式3-4参考資料有) ・地盤調査を行い、『地盤調査報告書』を取得している。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・見積のルールを設け周知している。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・『地盤保証書』の取得で信頼性向上に努めている。(様式3-4参考資料有)	◎
c		
① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・無理な工期の設定を避け、週休2日制を取り入れている。	◎
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・技能や経験に見合う適正な処遇になるよう努めている。	◎
③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・加入必須としている。	◎
④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: ・現場は安全確保を第一とし、良好な健康状態で作業に当たれる取組をしている。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	なし	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) e-くらし 健康・快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 広島県、山口県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ひろしま健康でe-くらし	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0668-0630	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・保管する項目を設定し、基本30年以上の保管と蓄積としている。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・住宅履歴情報サービス機関で情報保管と蓄積を行っている。	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・情報サービス機関からの報告を以って、登録と内容の確認を行う。	◎
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・グループとして7回の定期点検を設けている。 ・時期は3ヵ月目、半年目、1年目、5年目、10年目、20年目、30年目、とする。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・作業者、作業日時、補修箇所、補修内容、補修結果の記録は保管している。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・情報サービス機関からの『更新完了報告書』を以って、実施と内容の確認を行っている。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・お施主様向けの住まい管理勉強会を行っている。	◎
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・近年の関心の高まりを受け、開催数を増やしている。	◎
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・リフォーム相談会を開催している。	◎
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が維持管理委員会を運営している。	◎	
⑤ その他の維持管理の手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・構成員同士での相互補完の協力体制を敷くことで、維持管理マネジメントを潤滑化している。	◎		
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・廃業等が発生した場合、他の構成員によってその後の点検、維持管理、メンテナンス等のサポートを実施する。	◎	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・定例会で課題として取り上げている。	◎	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・信頼性向上の取組として、構成員による維持管理サポートのほか、専門のサポート機関の利用を進めている。(様式3-4参考資料有)		○	

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・経験事業者が交代で指導している。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・一部ルール化し、品質管理に努めている。	◎
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が中心となって管理し、確認している。	◎
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・毎年4月の総会で策定している。	◎
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・毎年4月の総会で策定している。 ・年度末に成果の発表と確認を行っている。	◎
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・業種ごとに内容を分析し、模索している。	◎
	b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 4 今年度の参加目標人数 5
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数		昨年度までの終了者数 2 今年度の参加目標人数 2	◎
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・事務局が受講していない構成員に受講を促し、日程の周知をしている。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・AIを活用した受注率向上を目指し、定例会で学習を重ねている。	○
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・今後の課題とする。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	なし		○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) e-くらし 健康・快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 広島県、山口県													
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ひろしま健康でe-くらし	(結成年) 2015 年													
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0668-0630														
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。															
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
a	地域材利用に関する														
①	共通 ルール(必須)	・地域材を主要構造材(柱・梁・桁・土台)に50%以上使用する。 ・2次部材についても地域材を積極的に使用する。ただし、使用部位、使用割合は決めない。	◎												
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	◎												
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している														
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
造作材	枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している														
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明	<p>【補足】地域型住宅の地域材供給の流れについて (事業者を含まない理由を含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木が国有林、県有林等から供給される地域があるため、該当地域においては原木供給業者が含まれない。 ・一部、流通を介さずに地域材の調達を行う場合がある。 ・一部の施工グループの構成員においては、全て手刻みによる加工を行うため、プレカット会社を使用しない場合がある。 ・原産国が海外の木材については、産地・出荷者が多岐にわたり原木供給者、製材会社の特定が困難な場合がある。この為、流通グループに所属する出荷者による合法性の証明によって代替する。 													
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: ・現実的に難しかったため、今後の課題とする。	○												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ・一部、共有の仕組がある。	◎												
	② グループ全体における地 域材の需給予測	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・木材業者に協力を仰ぎ、需給予測の確認を可能な範囲で行っている。	◎												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・置き畳の流行など、和の取入れが進んでいるので、積極的提案を行っている。	◎												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・お施主の要望により取り入れている。	◎												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・お施主の要望により取り入れている。	◎												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・リビング、和室のアクセントとして活用する。グループとして年間10枚程度が目標です。	◎												
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・中国地方の伝統的素材を活用した内装材、建具を積極的に使っている。	◎												
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・広島県の伝統的意匠を活用している。	◎												
d	① 地域の伝統的なデザ インを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・瀬戸内海式気候に対応した伝統的デザインを継承する。	◎												
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・日本伝統の和の仕様や、地域に伝わる住まい方を積極的に提案している。	◎												
	③ 地域の街並み形成へ寄 与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・広島県の木の植樹で街並み緑化、美観形成に貢献している。	◎												
	④ 和の住まいの要素を取 入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: ・日本伝統の和室、畳、障子を取入れ、心豊かな生活の提案を行っている。	◎												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。	・広島県産材を使用した内装材の使用を広げ、地域経済に貢献する。	○												
カ. その他															
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄													
	東日本大震災の復興に資する取組	・昨年度と同様に継続する。	◎												
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	・昨年度と同様に継続する。	◎												

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) e-くらし 健康・快適住宅	(地域型住宅供給対象地域) 広島県、山口県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) ひろしま健康でe-くらし	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0668-0630	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

高度省エネ型(ゼロエネルギー住宅)提案住宅の概要(様式5-1 抜粋)

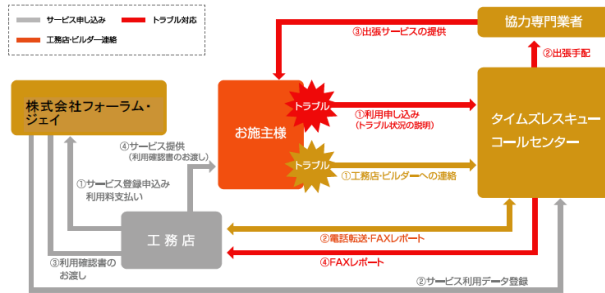
- ・提案種別⇒『BELS認証による評価』
- ・グループとして展開する地域(ゼロエネ住宅の供給予定地域)⇒・4地域・5地域・6地域
- ・グループで共有する数値目標
外皮平均熱貫流率(UA値)⇒0.56W/㎡・K
全体のエネルギー削減量(R)⇒この項目の設定なし
太陽光を除くエネルギー削減量(R0)⇒この項目の設定なし
- ・ランクアップ外皮性能の住宅
あり → グループのゼロエネ供給戸数の20%

(1)モデルプラン計算結果

【4地域】《エネルギー削減率(全体R)100.0%(太陽光発電を除くR0)31.0%》《UA値0.6W/㎡・K》《(太陽光発電)5.40kW》
 【5地域】《エネルギー削減率(全体R)119.0%(太陽光発電を除くR0)30.0%》《UA値0.6W/㎡・K》《(太陽光発電)5.40kW》
 【6地域】《エネルギー削減率(全体R)127.0%(太陽光発電を除くR0)31.0%》《UA値0.6W/㎡・K》《(太陽光発電)5.40kW》

専門のサポート機関によるサポートモデル

●ホームアシスタンス24ご提供のフロー



住宅履歴情報登録証明書



住宅履歴情報登録証明書表

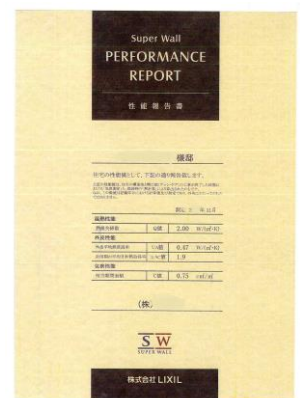


住宅履歴情報登録証明書裏

地盤保証書



温熱性能、外皮性能、気密性能
性能報告書



※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。